

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)介護老人保健施設 梨の里	階数	地上4F
建設地	京都府八幡市八幡柿木垣内25-1番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	190 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院.	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年2月25日
敷地面積	9,333 m ²	作成者	池田郁英
建築面積	1,769 m ²	確認日	
延床面積	6,309 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 87%
③上記+②以外の 87%
④上記+ 87%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	緑を大事にした環境とすること。 開口部には複層ガラスを用い建物の外皮性能の向上を図ること。	その他 特になし。
Q1 室内環境	老人が24時間生活をする場所であるため、明るく、暖かく、静かな質の高い居住環境を目指した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の緑化に努めること。
Q2 サービス性能	老人が使用中にも、設備の更新を行うために十分なパイプスペースや天井高さを備え、将来の間仕切りの変更にも対応するよう、柱、梁、外壁以外はほとんど軽量間仕切りを使用した。	LR3 敷地外環境 雨水などについても、できるだけ自己敷地内で浸透させて、敷地外への影響に配慮した。
LR1 エネルギー	建物の使用方法や、各室の使用頻度にあわせて設備機器を選定した。 外壁の開口部には複層ガラスを用い、エネルギーの省力に努めた。	
LR2 資源・マテリアル	可能な範囲でエコマーク認定の建材を採用し、持続可能な社会における建築生産を目指した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される